

**CASBEE-広島 (2010年ver.1)**  
**エイトバレー松川**

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります  
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版  
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>2.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.2</b>	0.15	<b>2.2</b>	1.00			<b>2.2</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 騒音レベル								
<b>1.2 遮音</b>		<b>1.0</b>	0.40	<b>2.0</b>	0.40			
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	2.0	0.30			
2 界壁遮音性能				2.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				1.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20			
<b>1.3 吸音</b>		<b>3.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.0</b>	0.35	<b>2.2</b>	1.00			<b>1.0</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>1.0</b>	1.00	<b>2.6</b>	0.50			
1 室温設定		-	-	3.0	0.63			
2 室温変動の抑制								
3 外皮性能		1.0	1.00	2.0	0.38			
4 ゾーン別制御性								
5 室温変動の抑制								
6 室温変動の抑制								
<b>2.2 湿度制御</b>		-	-	<b>3.0</b>	0.20			
<b>2.3 空調方式</b>		-	-	<b>1.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.7</b>	0.25	<b>2.8</b>	1.00			<b>2.7</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>4.2</b>	0.30	<b>3.4</b>	0.30			
1 昼光率	共用部 :3.4 居住部 :4.2	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
1 グレア対策								
2 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
<b>3.3 照度</b>		<b>1.0</b>	0.15	<b>1.0</b>	0.15			
1 照度		1.0	1.00	1.0	1.00			
2 照度								
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25			
<b>4 空気質環境</b>		<b>2.6</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.6</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 化学汚染物質								
3 化学汚染物質								
<b>4.2 換気</b>		<b>2.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能				3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	3.0	0.33			
4 換気量								
<b>4.3 運用管理</b>								
1 CO <sub>2</sub> の監視								
2 喫煙の制御								
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>2.4</b>
<b>1 機能性</b>		<b>1.0</b>	0.40	<b>3.2</b>	1.00			<b>1.1</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>1.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応				4.0	1.00			
3 バリアフリー計画		1.0	1.00					
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>1.0</b>	0.40	<b>2.0</b>	0.40			
1 広さ感・景観				3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
<b>1.3 維持管理</b>								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.31					<b>3.0</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.3</b>	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル張り :40年	5.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		1.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	「B」が2種類でかつ「E」の配管はない	5.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23					

2.3 信頼性				-			
2.4 信頼性			2.8	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備	ヒカリケーブルの採用	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.4	0.29	2.8	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり					2.6	0.50	
1	階高のゆとり				3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.4	1.00			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性	屋上に点検口及び吊下げ装置の設置	5.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30			2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40			3.0
2 自然エネルギー利用			2.5	0.20			2.5
2.1 自然エネルギーの直接利用			2.0	0.50			
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		照明計算 :0.44	4.8	0.40			4.8
4 効率的運用							
4.1 モニタリング							
4.2 運用管理体制							
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護			2.2	0.15			2.2
1.1 節水			1.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60			
1.2.1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00			
1.2.2 雑排水再利システム導入の有無							
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63			2.7
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		高炉セメント材B種	4.0	0.20			
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.22			2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.68			
3.2.1 消火剤			-	-			
3.2.2 断熱材			2.0	0.50			
3.2.3 冷媒			3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33			3.0
2 地域環境への配慮			2.3	0.33			2.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.3	0.25			
2.3.1 雨水排水負荷低減			-	-			
2.3.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33			
2.3.3 交通負荷抑制			2.0	0.33			
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33			3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
3.1.1 騒音			3.0	1.00			
3.1.2 振動			-	-			
3.1.3 悪臭			-	-			
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40			
3.2.1 風害の抑制			3.0	0.70			
3.2.2 日照障害の抑制			3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.7	0.20			
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告塔の設置なし	4.0	0.70			
3.3.2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			